

事務事業名		放課後子ども教室推進事業		所属部	教育委員会	所属課	キャリア教育政策課
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>		所属G	キャリア教育政策G	課長名	工藤松太郎
	施策名	(28)青少年健全育成の推進		担当者名	岡紋子	電話番号	0854-40-1074 (内線) 2241
	目的	対 青少年(就学後～30歳未満の市 民)	意図 社会でたくましく生き抜く力を身に付ける。	予算科目	会計 015003 款 0502 項 0502	大事業名	社会教育推進事業
	基本事業名	(083)地域における交流体験・学習活動の推進		中事業名	放課後子ども教室事業	大事業名	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H19 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
平日の放課後や土日に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の支援を受けながら、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、「安全・安心な遊びの場所」「体験、交流、学びの場」として提供している。具体的には、昔遊び、スポーツ、野外体験、文化伝統活動等の学びや遊びの活動を行っている。各実行委員会に対し、運営費(所要経費)を業務委託の委託料として支払う。

(2) 事務事業の手段・指標

① 主な活動	R元年度実績(R元年度に行った主な活動)	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動)				
手段	各実行委員会における教室の開設(放課後の活動)、各実行委員会・スタッフ会の開催、全体の連絡会や研修会の実施。 【事務】各団体との契約締結、委託料の支払い。支払い事務の注意事項の連絡。各教室の実績報告をまとめた上で県への実績報告。新規取り組みを検討する組織に対しての説明、助言等。	各実行委員会における教室の開設(放課後の活動)、各実行委員会・スタッフ会の開催、全体の連絡会や研修会の実施。 【事務】各団体との契約締結、委託料の支払い。支払い事務の注意事項の連絡。各教室の実績報告をまとめた上で県への実績報告。新規取り組みを検討する組織に対しての説明、助言等。				
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
ア	実行委員会の開催(年間)	回	20	20	19	19
イ	スタッフ会の開催	回	20	20	19	19
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
	市内すべての子ども(幼児・児童・生徒) ※但し、主な対象は小学生(児童)とし、各小学校区内で活動するもの。	ア	児童数	人	1,860	1,817	1,759	1,726
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)		
地域の子どものための拠り所となるような学びの機会の提供。	ア	放課後子ども教室の開設数	教室	20	20	19	19	
	イ	教室開設日数(年間)	日	1,835	1,778	1,847	1,919	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
報酬 1,020,000円 委託料 10,655,000円	事業費	財源内訳	千円				
		国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	7,895	7,207	7,784	5,963
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円	3,948	3,604	3,891	2,981	
	事業費計(A)	千円	11,843	10,811	11,675	8,944	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	3		
	延べ業務時間	時間	1,200	120	440		
	人件費計(B)	千円	4,892	520	1,866		
トータルコスト(A)+(B)	千円	16,735	11,331	13,541			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
放課後の子どもの居場所(家庭以外)に対するニーズは年々高まっている。国においては、放課後子ども教室(文部科学省所管)と放課後児童クラブ(厚生労働省所管)の一体的・連携した取り組みを推進する「放課後子どもプラン」が掲げられている。	放課後子ども教室の運営(実施主体)にかかる事務の効率化を進めている。また、実施主体に対して各種研修会をはじめとする積極的な情報提供を行っている。	○利用者(児童の保護者) 子どもの見守りだけでなく体験活動等に対し、感謝の意と継続実施の要望を常にいただいている。 ○実施主体 スタッフの高齢化による運営への苦慮の声を多くいただいている。

事務事業名	放課後子ども教室推進事業	所属部	教育委員会	所属課	キャリア教育政策課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・子ども教室の有効性を理解していただくことにより、ニーズに対しよりきめ細やかに対応できる体制を構築できる余地はある。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	・子どもたちの「生きる力」を育むための学びや体験の機会が確保できなくなるだけでなく、地域の子どもを地域全体で育てる気運、活動及び支援体制、防犯意識等を衰退させることが懸念される。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		放課後児童健全育成事業
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	国からは児童クラブと一体的・連携した取り組みが求められている。他方、現状等を踏まえると、様々な課題があることから短期的な統廃合については、極めて難しいと考えられる。		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費の削減は、実施個所や活動(回数・学習プログラム)の停滞や質の低下につながる。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	各教室の運営は、各実行委員会により地域の実態にあった運営をいただいております、これ以上の削減余地はないと考えます。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	市内すべての小学校区を対象としており、公平・公正である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
地域からは、単に子どもを見守るだけでなく、地域全体で子どもたちを育むという機運の醸成につながるなど、本事業に対する期待は大きい。実行委員会の場に積極的にのりかけるなど、着実な業務が推進できたところであるが、地域CNや教育支援CNの役割を含めた議論が必要である。				

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>持続的な運営体制に向けた課題も多く、国の動向も踏まえつつ、子ども政策局と教育委員会での協議はもとより、コミュニティスクールの場を含めて地域との積極的な議論をしていく必要がある。</p> <p>なお、放課後児童クラブのない地域からは、クラブの代替の機能を求められるなど、子どもの居場所機能への多くの期待がある。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		